

みんなの広場

みんなのギャラリー



西武学園文理高等学校の生徒たちが、すばらしいお点前を披露しました。高校生「お茶の薫風の茶会」
5月4日(日) 彩翔亭 所沢航空記念公園
(撮影/市民カメラマン・中村仁)



「このお花、私が生けましたあ！きれいでしょ!？」
子どもたちのセンスが光ります。「いけばなこども教室」
4月26日(土) 山口公民館
(撮影/市民カメラマン・津田資雄)



第32回高齢者大学入学式が行われました。学生数160人、平均年齢67.8歳のピカピカの1年生です。
4月23日(木) 保健センター



市民の皆さんが、手づくりのコンサートを開催しています。「松井クラシックのつどい 第200回記念演奏会」
5月10日(土) 松井公民館
(撮影/市民カメラマン・松崎 満)

みんなで楽しくエコ活動!
環境レポーター「エコちゃん」が行く

地域環境ネットワーク「エコ企業ネットとところざわ」 ～協働して、地域環境の改善をめざします～

「エコ企業ネットとところざわ」の皆さんに聞きました。
◆どんな団体なの?
地域の環境保全や改善等を目的とした市内事業所どうしのネットワークとして、平成18年2月16日に市内の12事業所をもって設立しました。現在は、26事業所が会員になっています。
◆どんな活動をしているの?
環境情報の交換や、地域で事業者が協働して環境配慮行動を進めたり、研修会やセミナーを開催したりして、会員の業務改善および環境改善につなげています。
◆昨年の活動は?
地域清掃活動(クリーンウォーク運動)や環境セミナー、研修会を実施しました。家庭でできる地球温暖化防止活動「冬の省エネデー」に参加し、二酸化炭素の削減にも取り組みました。
◎随時、会員(事業者)の募集をしています。お気軽にお問い合わせください。



▲クリーンウォーク運動

詳しくは、市ホームページ(「エコ企業ネット」で検索)をご覧ください。
皆さんも身近なところから「エコ活動」をしましょう!
問い合わせ 環境総務課 (☎2998-9133・FAX2998-9394)

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています!
▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント(約60字)を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『おむすび』▶文章は添削あり▶締め切りは6月9日(月)必着▶掲載者には記念品を進呈
◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501・並木1-1-1所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはEメール(アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)でご応募ください。

はつらつ野老っ子

民間国連ヤング大使とは、『ダメ。ゼッタイ。』国連支援募金運動等の薬物乱用防止活動に積極的に協力した中学生・高校生の代表を、今後の国内での啓発活動で活躍してもらうために、ウィーン(オーストリア)にある国際連合薬物犯罪オフィス(UNODC)等へ派遣しているものです。平成19年度は、全国から6名の中学生・高校生が選ばれました。
その一人が市内ボーイスカウトに所属する福島悠也さん(所沢西高校1年)です。福島さんは、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長から同大使の任命をうけ、街頭キャンペーンの募金で集まった浄財を国連薬物犯罪オフィスに贈呈するために、3月25日から4月1日までウィーンに派遣されました。派遣に先立ち、首相官邸にて薬物乱用対策推進本部長である内閣総理大臣からも激励を受けました。
派遣先では、薬物依存症の治療・研究施設を見学し、専門家から薬物依存の恐ろしさについて改めて学びました。「薬物に手を染めることは簡単だけれども、そこから抜け出すためには長い年月に及ぶたいへんな苦しみを乗り越えなければなりません。ゼッタイに薬物に手を出したらダメです!」と、福島さんは強く訴えます。
「派遣前の活動の時期は、高校の受験準備と重なってたいへんでしたが、ウィーンの高校生たちとの意見交換会を通じて交流するなど貴重な経験ができ、参加して本当によかったと思っています」と、充実した派遣活動を振り返ります。
小学校3年生のときからボーイスカウトを続けている福島さんの夢は、ボーイスカウトのリーダーになって、4年に1度開催される全世界のボーイスカウトの最大行事である世界ジャンボリーに参加すること。
薬物乱用防止活動の若きリーダーは「薬物依存の恐ろしさを多くの人へ、特に若い世代へ伝え、明るい社会にしていきたい」と熱い思いを語ってくれました。



▲福島悠也さん

民間国連ヤング大使 福島 悠也さん (けやき台在住)

UNODCにて (左が福島さん)



新緑を満喫
北野・飯島 敏枝
35年間お世話になった市内青葉台の地を後にし、ケアハウスに入居したのは今年の4月のことです。入所のごころには満開の花をつけていた桜の大樹もすっかり若葉となり、大きな窓から眺められる新緑の狭小丘陵の美しさに魅せられ、森林浴をしながら暮らせることに感謝しています。
日は太陽にまた、晴れは青葉の輝き、若葉の緑、雨の日は洗われた新緑を満喫し、人生の最晩年を充実して過ごせる幸せを感じています。



「新緑」4月30日/松が丘中央公園 (写真/北秋津・田島英夫)

歴史再発見 ところざわの文化財

江戸時代初期の建築様式をとどめる ～多宝塔～

市内上山口にある狭山不動尊の本堂脇には、高さ約14メートルの二重の塔がそびえています。多宝塔と呼ばれ、下層は方形で、上層は円形になっています。
「塔」とは、サンスクリット語の「ストゥーパ」を漢訳したもので、元来、仏舍利(釈迦の遺骨)を納める施設をいいます。木造では、五重塔や三重塔が、石造では五輪塔や宝篋印塔などがよく知られています。多宝塔は、下層の屋根と上層が亀腹と呼ばれる白漆喰で接続されているのが特徴です。
この多宝塔は、大阪府高槻市にある畑山神社の境内に建てられていたものが、昭和35年(1960)に当時のユネスコ村内に移築されました。移築のときに解体したところ「慶長十二年……」の墨書が見つかり、この塔が慶長12年(1607)に建てられたことがわかりました。その後この塔は、屋根の小修理が宝永3年(1706)に行われたのと、移築の際にわずかな補修がされただけで、建築当時の様式をよく残しています。
江戸時代初期の貴重な建造物として、埼玉県指定文化財となっています。問い合わせ 文化財保護課 (☎2998-9253・FAX2998-9128)



誰でもエッセイ
「新緑」
私の一番好きな季節
松郷・米山 美紗子
桃色の早春、桜色の陽春と優しい春色の3月・4月を過ごした後のまぶしい新緑の季節、私のお気に入りです。その5月に私の誕生日があるのも、子どものころからの季節が好きなお理由です。
また、母の日があるのが5月であるのも嬉しいのです。今年の母の日には、遠方から一人暮らしの母親に会いに行きました。帰りの列車の窓から見える鮮やかな緑が、私の心を洗ってくれます。そんな若葉の季節に私を産んでくれた母に感謝しています。



我が家の新緑

緑町・岩田 惠美子
カーテンを開けるとキラキラ輝く木々の緑。住宅地に残された林のそばに暮らして25年、新緑の季節が一番好きでした。その地を去った今、カーテンを開けても緑は見えませんが、でも、ペランダの片隅で鉢植えの新芽が上へ上へと伸びていました。我が家にもさやかな新緑があったと、風に揺れるやわらかい緑を見ながら、心が安らぐのを感じました。
若葉は一日数を増していきま。いつかこのペランダを緑で一杯にし、「我が家の新緑を見に来てほしい」と言える日が来るのが楽しみです。

